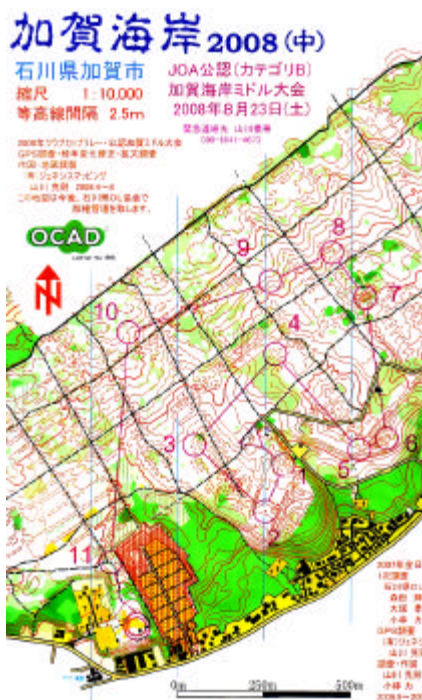


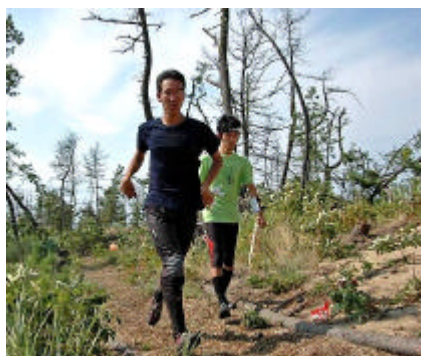
ただ快感！加賀海岸

加賀海岸オリエンテーリング北海道大会 2008年8月23日 石川県加賀市



北陸最高のトレイン「加賀海岸」。極上のナビゲーション天国。

2008年8月23日 石川県加賀市
加賀海岸オリエンテーリング大会



加賀海岸のトレインは松食虫の被害に遭い、多くの面積が伐採・消毒されている。街では判らないことが森を走ればよく判る。

クラブカップのモデル

「加賀海岸」。日本海に広がる広大な砂丘に先人たちが松を植林してできた巨大な森。緩やかで通行可能性が高く、微地形に覆われている森。そこはまさにオリエンテーリング天国だ。地図に広がる多くの森は走行可能。緩やかな地形は等高線間隔2.5mで表現されている。クラブカップ2008では、こんな素晴らしいトレインを高精度の地

図を使って走る。

だがここに似たトレインは日本国内どこにもない。加賀海岸でのビッグレースの前に地図表記と現地の状況を照合する機会というのは限られている。

クラブカップ前日に開催された加賀海岸大会はこうしたモデルイベント需要に応えるものだった。募集期間が短かったにも関わらず多くの参加者がこの大会に参加した。

ある者はJOA公認大会による力試しの場として、またある者は翌日に開催されるクラブカップのモデルイベントとして、それぞれ加賀の砂防林を楽しんだ。



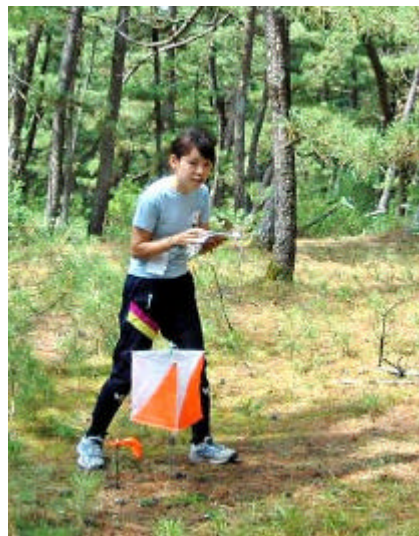
伐採された松はウッドチップにされてトレインに敷かれ消毒作業用の道となっている。ランナーの足に優しい絶好のトレイルだ。

夏休み

猛暑に見舞われた2008年夏。この日も真夏の暑さになった。加賀海岸は背丈の低い松が疎に生えているトレイン。真夏の日差しが参加者に降り注ぐ。モデルコースということで給水所は無い。スタートへ給水用ペットボトルの持込が認められ、会場までの輸送が行われた。

会場は砂地のキャンプ場。参加者の中にはこのままここにキャンプして翌日のクラブカップへと参加する。海岸、キャンプ、オリエンテーリング・・・と絵に描いたような夏休み。

(木村佳司)



「加賀海岸」。森がしっかりと残っているところは通行可能度バグン

競技結果

エリートクラス上位3名

M21E-5.6km	270m		
1	松澤俊行	0:34:32	三河 OLC
2	坂本貴史	0:34:52	人間市 OLC
3	高橋善徳	0:36:07	みちの会
W21E-3.8km	140m		
1	朴峠周子	0:29:01	ときわ走林会
2	千葉 妙	0:30:11	ときわ走林会
3	渡辺円香	0:30:18	ES 関東 C

各クラス優勝者

M21A	山下智之	人間市 OLC
W21A	松永真澄	早大 OC
M35A	岩倉 毅	OLP 兵庫
M20A	小林 遼	東大 OLK
M50A	伊藤哲夫	三重県 OL 協会
M65A	河村健二	三河 OLC
W35A	広江 望	ES 関東 C
W20A	高野美春	人間市 OLC
W50A	大塚ふみ子	千葉 OLK
W65A	石田美代子	愛知 OLC
M18A	五百倉大輔	大阪 OLC
W18A	宮川早穂	ES 関東 C
M15	板谷祐樹	OLP 兵庫
W12	小林璃衣紗	ES 関東 C
M12	下江健史	広島 OLC
B	諏訪高典	OLP 兵庫